羅針盤

札幌東商業高校進路通信
平成 30 年 3 月 23 日
札東商進路指導部発行

進路選択は人生の選択である！

82 歳母と 52 歳娘、孤立の末に　－　札幌のアパートに 2 遺体　－　「8050 問題」支援急務

2018.3.5 北海道新聞

80 代の親と 50 代の子どもが身を寄せる世帯が社会から孤立してしまう**「8050（はちまるごーまる）問題」**―。全国で表面化する中、札幌市内のアパートの一室でも 1 月、2 人暮らしの母親（82）と娘（52）とみられる遺体が見つかった。娘は長年引きこもり状態だったという。道警は母親が先に亡くなり、一人になった娘は誰にも気付かれずに衰弱死したとみている。専門家は「支援策を整えなければ同様の孤立死が増え続ける」と訴える。

高層マンションの建設ラッシュが続く札幌市中央区の住宅街の一角。築 40 年の 2 階建てアパートの 1 階の部屋で 2 人の遺体は見つかった。道警の司法解剖の結果、2 人の死因はいずれも低栄養状態による低体温症。母親は昨年 12 月中旬に、娘は年末にそれぞれ飢えと寒さで死亡したとみられる。捜査関係者は「2 人は都会の片隅で誰にも気付かれずに亡くなった。何とか救う方法はなかったのか」と漏らした。

道警によると、1 月 6 日午後、検針に来たガス業者が異変に気付き、別室の住民が室内に入って遺体を発見した。ストーブには灯油が入っていたが、エラーと表示され停止していた。冷蔵庫は空で、床には菓子の空き袋や調味料が散乱していた。室内には現金 9 万円が残されていた。

親子は週に 1 回だけ近所の銭湯に通っていた。銭湯の女性店主（78）は昨年 12 月 26 日、アパート近くの自動販売機でスポーツドリンクを買う娘の姿を目撃した。「ペットボトルを抱えて何度もしゃがみ込み、ふらふらしていた」

女性店主の息子が駆け寄った。一言も話さなかったが、アパートの前まで送った。「もう少し手を差し伸べていれば…」。息子は今も悔やんでいる。

近所の住民によると、母親は夫と死別後の 1990 年ごろに娘とアパートに入居した。当時、収入は年金だけで生活保護や福祉サービスは受けていなかった。娘は高校卒業後、就職したものの、人間関係に悩んで退職し、引きこもり状態になったという。

悲しい出来事ですね。こういう事件が起こると「社会が悪い、国の政策のせい」というコメントが数多く出てきます。しかし、悪者を見つけ出し**非難することは簡単ですが、何の解決にもなりません。**国の政治や北海道・札幌市の政策、地域社会の変化が一因ではあることは確かです。弱者に対して何ら手をさしのべない行政の責任は重大です。



では、あなたには何ができますか？このような事件が起こらないようにするために、あなた自身が今からできることは何でしょうか？たった一つでもかまいません、自分にできることを考え、行動することが本当の解決策に繋がるのです。

さて、視点を変えましょう。「8050 問題」です。80 代の親と 50 代の子どもによる世帯が抱える問題です。みんなにはピントこないでしょうね。年齢的には、みんなの親とおじいちゃん、おばあちゃんの関係に近いですね。遠い未来の話とか思うかもしれませんが、誰しもいきなり 50 歳 80 歳になるわけではありません。1 年 1 年の連続、積み重ねで 50 歳 80 歳になるんです。みんな 10 代だったのです。



今回の記事の親子は、それぞれの人生の節目において、**いくつかの選択をしてきた結果、このような最期を迎えたわけです。**どのような選択肢があり、どのような選択をしてきたかはわかりません。しかし、選択をしてきた（あるいはしなかったか）ことは確かです。二人の生活はマスコミの報道でしかわかりません。なぜ母子二人の生活になったのか？父親は何年前まで存在したのか？母親はいくつまで働いていたのか？娘に配偶者や子どもはいなかったのか？娘はいつから、なぜ引きこもりになったのか？･･･。



国や社会のせいにしないで、このような事件が起こらないようにするために、今の私にできることは何か？それは、**「このような『悲しい人生の結末』を迎えないために、進路選択＝人生の選択をしっかりするんだよ」**と高校生に教え諭し、より良い選択肢を探す手伝いをすることです。

その時は煩いな、面倒くさいなと思っても、人生を振り返ったとき、高校時代に将来のことをしっかり考えることができてよかったと思ってもらうことです。

悲しい出来事の話で始まったので、終わりは、明るく爽やかにそっと背中を押してくれる歌で締めくくります。ぜひ聴いてみてください。良い歌ですよ。

決心のきっかけは　時間切れじゃなくて　考えたその上で未来を信じること
後悔はしたくない　思ったそのまま　正解はわからない　たった一度の人生だ。
決心のきっかけは　理屈ではなくて　いつだってこの胸の衝動から始まる
流されてしまうこと　抵抗しながら　生きるとは　選択肢　たった一つを選ぶこと。
乃木坂 46「きっかけ」より

進路決定１００％達成！

卒業生の進路が確定しました。**131 名と過去 5 年間で最多の学校斡旋就職者**となりました。**公務員は 3 年連続の二桁合格**です。自己開拓希望者も、しっかりと自らの進む道を決めてきました。

進学組は**四年制大学進学が最多タイの 69 名**。その内、国公立大学進学者が 7 名と過去最多の数字となりました。一方、専門学校（看護学校 6 名を含む）は 62 名となり、過去 5 年間で最も少ない進学となりました。

専門学校に進学しなくても、数多くの優良企業から求人をいただいていること。専門学校に進学しなくても、希望の業界に就職できることが理解されたことが、要因のようです。

進　学		就　職	
大学	69 名	学校斡旋	131 名
短大	27 名	公務員	14 名
専門学校	62 名	自己開拓	7 名
（看護学校・看護学部）	（7 名）		
進学準備・その他	4 名		
計	162 名	計	152 名